



人、ひとりひとりの心地良さ

特別養護老人ホームみちのく荘

まるめろ通信

【まるめろ通信/第76号】

発行日/2010年 5月30日
発行/青森社会福祉振興団
みちのく荘 0175(23)1600
みちのく金谷デイ 0175(23)0771
城ヶ沢みちのく荘 0175(24)3163
脇野沢いこいの里 0175(31)5611

第76号 2010.5.30発行

まるめろ通信

発行部数/20,000部



5月1日、お孫さんの結婚式での一場面です。

くつろぎ
おしゃべり

訪問介護を利用中の
山内くにさん(84歳)
むつ市新町出身

私は大正15年5月25日むつ市新町で生まれました。その頃、実家は田名部祭りの組員の『やど』として使われていたので、普

孫の晴れ姿を目の前で見る事ができて涙がでるほどうれしく、感謝の気持ちでいっぱいです。

みちのく金谷総合デイサービスセンター【サービスお品書その7】

平成20年7月にオープンした、みちのく金谷総合デイサービスセンターでは、様々なサービスを提供しています。今回はシリーズ第7弾として「みちのく金谷総合デイサービスセンターホームページ」を紹介します。

みちのく金谷総合デイサービスセンター専用のホームページを開設しました。「市民に開かれたデイサービスセンター」を目指すためにデイサービスセンター(通所介護)についてのサービス内容、利用料金、申し込み方法等の紹介を行っています。今まで、まるめろ通信で紹介してきたサービスなどについても紹介しています。



ホームページアドレス
<http://www.michinokuso.or.jp/kanaya/index.html>



ヘルパー2級養成講座受講生募集!

みちのく荘では、第18期みちのくヘルパースクールを開講いたします。介護に関心のある方、ホームヘルパー2級の資格を取得しようとお考えの皆様からのお申込をお待ちしております。

- *働きながらでも資格取得が可能な夜間コース
- *全過程を受講するだけで資格取得可能
- *教育訓練給付制度対象講座
- *厚生労働省緊急雇用創出事業対象講座(当施設の職員として働きながら、受講料無料で資格を取得できます。*人数制限あり)

受講期間	平成22年7月22日(木)～9月11日(土)(予定)
受講時間	月～金曜日 18時～21時 土曜日 13時～17時 ※実習期間(期間の後半1週間程度)は日中帯に実施
受講場所	①特別養護老人ホームみちのく荘(十二林11-13) ②下北文化会館(金谷1-10-1)
実習場所	みちのく荘 他 ※ホームヘルプサービス同行訪問は、利用者宅へ伺います。
受講料	税込 90,000円(予定)
受講資格	満15歳以上の健康な方で、むつ市及び近隣町村に居住の方 ※高校生も受講できます
募集人数	20名(定員になり次第締切)

《申込・詳細》特別養護老人ホームみちのく荘
TEL 23-1600 奥島まで

家族介護教室のお知らせ

体を動かさずにいると、筋力や骨は年齢以上に衰え、心臓や肺の機能も弱くなってしまう。健康的な毎日を送るために、いつでも、だれでも、すぐできる「すこやか運動教室」をシリーズで開催します。健康体操指導士と一緒に楽しみながら体を動かしてみませんか?どなたでも参加できますので、お気軽にご参加下さい。
※当日は動きやすい服装で、バスタオルとフェイスタオルをお持ち下さい。
(参加希望の方は、事前に連絡をお願いします。)

〔日時〕6月24日(木) 7月12日(月) 午前10時～11時30分
〔場所〕むつ市中央公民館
〔問い合わせ〕みちのく在宅介護支援センター (23)7930 担当/川端まで

段からよく人が集まって、毎日それはにぎやかだった。今でも祭りばやしを聞くと心が躍るねえ。ここ(海老川町)に引越してからは、昔みたいにはやしの音が聞こえなくなかった。祭りの時期になると、見に行きたくなって体が自然に動いてしまうよ。
小学校の頃は戦争中だったから、卒業後は奉公に出たんだよ。奉公先の家の人には良くしてもらったから、辛いと思ったことはなかったね。その後は和裁を身につけ、着物を縫って賃金をもらったり、子どもに浴衣を作ったりもしたよ。あの頃は、女の子はみんな裁縫を習いに行かされたんだ。今でも針と糸があればできるかもしれないね。雑巾でも縫ってみるかなあ(笑)。
22歳に結婚して、男の子2人・女の子2人の子供に恵まれました。出産後、すぐに働き、田んぼ・食堂勤め・サイダー屋のピン洗いや、仕事は何でもやったよ。実家の畑も手伝っていたんだけど、そこへ行くのが大変だったね。夫は田名部高校の守衛をしていて、夜から朝までいない生活だったから、少し寂しかったなあ。昔は家でブドウ・スグリ・グミ・栗など、実のなる木を植えていたから、ウチの子どもたちの他にも近所の『わらはんど(子どもたち)』が取りに来ていた。食べ物が少ない時代で、みんなお腹を空かせていたから、とてもじゃないが怒るなんてできなかったよ。どうせ家族だけじゃ食べきれないもの、姑には黙ってすきなように採らせていたっけ。
夫との一番の思い出は、新町旅行会の集まりで金沢に行ったことだね。夫と一緒に出かけることができた最初で最後の旅行

だったよ。私は旅行が好きで、新町旅行会のみんなで九州・四国・北海道とさまざまに旅したもんだ。お土産はお菓子よりも洋服をよく買ってきていたから、タンスの中に自分や家族のいろんな服と思いが詰まっているよ(笑)。孫が生まれてからは、働きにでていた娘に代わって子守をしたねえ。保育園の送り迎えは歩きだったから、道すがら童謡を歌ったり、冬にはわざと雪をこいで行ったりして楽しかったよ。これまでの人生を振り返ってみても、大変な時代ではあったけれど、「もう嫌だ!」と思ったことは一度もなく、優しい家族に囲まれて、自分は幸せだなあと感じているよ。そして今一番うれしいことは、大きくなった孫が『なんとしても僕の結婚式に出席してほしい!』と行ってくれたこと。式当日、娘や親戚たちは忙しいだろうし、私一人で支度するのはとても無理だし、どうしたらいいのかと諦めかけていたけれど、毎日来てくれてるヘルパーさんに付き添ってもらい、孫の晴れ姿を目の前で見る事ができた。涙がでるほどうれしかった。感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんに「ありがとう」とお礼を言いたいです。これからも大切な家族や支えてくれる人たちのために、元気でいたいと思っています。

訪問介護スタッフからひとこと

毎朝ベッドに座り、「おはようさん」と私たちを迎えてくれる山内さん。お孫さんを見つめるまなざしも優しく、「長生きして良かった!」とおっしゃったとびっきりの笑顔が大好きです。今度はお孫さんの結婚式に出席しましょう!
杉山 知子

ロスファさん&ドゥウィさんの アパカバル? その7

日本・インドネシアの経済連携協定(EPA)に基づき、当法人で日本の介護福祉士国家試験の合格を目指し、働きながら勉強しているロスファさん、ドゥウィさん2名のむつ市での奮闘記をシリーズで紹介しています。平成22年1月に新たに2名の男性介護福祉士候補生もやってきました。計4名となった彼らの今後に注目です。

インタビューコーナー

この度、第3回EPA候補生との面接会が現地インドネシアのジャカルタで開催され、みちのく荘中山園長・益城副園長とともに、通訳としてドゥウィさんが随行し、4/7~4/16の10日間、2年ぶりとなる里帰りをすることができました。

Q1 久しぶりの帰国でしたね。ゆっくりできましたか?

楽しかった!インドネシアで過ごした10日間は、夢みたいでした。4月11日までは仕事をして、12日からは実家で過ごすことができました。地元の友人にも会えて、みんな「わー!ドゥウィちゃん!懐かしー!」と喜んでくれました。家族はみんな変わらないけど、中学生の弟の身長がすごく伸びてびっくりしました(笑)。母は小学校の教師をしているので、日中は仕事だったけれど、夜は買い物に行ったりして一緒に過ごせました。食事はどれも懐かしくて、「あれも食べたい、これも食べたい。」と言ってはみんなに笑われていました。”ホンダ(原付バイクのこと)”にも2年ぶりに乗って、初めはみんなに「大丈夫?」と心配されて不安だったけど、2~3日で慣れました。帰国の直前に叔父が亡くなったとの連絡が入り、4/7~4/11までは父母ともにジャワ島に行っていたため、中山園長と益城副園長に会って紹介する事ができなかったのが残念でした。

Q2 第3回EPA候補生との面接はどんな様子でしたか?

みんな「日本でずっと働きたい。」「日本人と結婚したい。」と言っていました。日本は様々な面で進んでいる国だと思っていて、みちのく荘の研修・勉強システムや職員旅行、ファミリー制度(各部署を家族と見立て”子ども”となる新入職員を育てる制度)などに興味を持っています。

※ アパカバルは日本語で「お元気ですか?」の意味です。

した。インドネシアの試験は厳しく、今年からは精神面のテストも追加され、落ちた人がたくさんいるとのことでした。私は、日本語の勉強は今からしておいた方がいいことや、楽しいことばかりではなく冬の寒さとか(笑)大変なこともあると伝えてきました。それでもみんなの熱意は強く、私が日本に帰ってきてからも、朝早くから(インドネシアは夕方)メールや電話が鳴り、「ドゥウィさん、みちのく荘に入れて!」とわれています。

インドネシアフォトアルバム



★面接風景★
みちのく荘の概要・待遇・採用条件・特徴などを説明しています。



★イスラム教礼拝所(モスク)★
お祈りする場所です。朝5時や日没にお祈りをしています。



特別養護老人ホームみちのく荘 管理員 山本 正幸

シリーズ 福祉の担い手

第13回 施設管理員

介護の現場にはどんな人がいるの?どんな仕事をしているの?と疑問を持つ方がいらっしゃると思います。一般的に「ヘルパーさん」や「介護士さん」と呼ばれることが多いですが、実は様々な職種の人たちがいて、色々な角度から利用者を支えているのです。このシリーズを通して、福祉の担い手を紹介したいと思います。

Q1 自己紹介をお願いします。
十二林にある特別養護老人ホームみちのく荘で管理員として働いている山本正幸です。むつ市出身ですが、18歳から2年間だけ黒石市にいました。黒石市以外は浮気をせずむつ市で働いています。
Q2 管理員の仕事内容を教えてください。
主な仕事は施設の建物・設備・機器の管理です。特に利用者が利用している水道やお風呂のお湯などは、生活に直結するので故障などが起こらないように定期的に保守点検を行っています。また設備・機械などは特性上、どうしても故障する可能性が高いので、故障になっても利用者への迷惑が最低限になるように心掛けて仕事をしています。
建物・設備・機器の管理以外では、利用者の車椅子の修理や居室の電球交換、ディスプレイセンターなどで利用する車両の管理や送迎、施設周辺の草刈りなどもしています。
Q3 利用者との関わりについて教えてください。
城ヶ沢でショートステイの送迎をしていた際、利用者から「待ってたよ。」と言われたことがあり、ジーンとしたのを覚えています。十二林では、車椅子の修理が終わって「どうも。」とか「ありがとう。」と利用者と言われると、身体がムズムズするようになうれしさを感じますね。また、以前に利用者から「これ何だべ?」と質問も受けたこと

がありました。結局、私もわからなかったんですが(笑)。そういった質問をされることもうれしい出来事でした。
Q4 家族のことを教えてください。
妻と娘がいて、娘は小学校に入学しました。年に一回開催される「マエダカップ」というマラソンがありますが、娘と一緒に走れたのはうれしかったですね。以前のマエダカップは妻が伴走していたので、マラソン自体はきつかったのですが、良い思い出になりました。
あと、親なら誰でも思うのでしようが、毎朝ランドセルを背負って「行ってきます。」と玄関を出て行く姿は頼もしくもありますが心配でもあります。私が仕事から帰ってきて「お帰りなさい。」と出迎えてくれると、ホッとしますね(笑)。
Q5 今後の目標を教えてください。
去年の5月の異動で十二林に来ましたが、覚えることがまだまだたくさんあると感じています。早く学んで利用者へ安全な生活を提供していきたいと思っています。
個人的には、スキーやバレーボールなど身体を動かすのが好きなので、是非とも今年、身体を動かす年にしたいと思っています。そして、何より一番は、ありきたりですが、娘が元気に成長してくれることですね。大きくなり、いずれは嫁に行ってしまうだろうけど、親バカですが、嫁にはやっぱりたくないというのが本心です(笑)。

やさしい街づくりを応援しています。

SAKURA mitsu plaza
さくらむつ店
【PHONE】0175-23-8700
【営業時間】AM10:00~PM10:00

エコ住宅・新築工事・リフォームなら
アフターと信頼の当社におまかせ!!
まつらホーム
松浦一級建築設計事務所 (有) 松浦建設
むつ市柳町4-12-25 TEL22-5309

快適な環境づくりのお手伝い
○介護用品のレンタル・販売 (車いす・ベッド・リハビリ機器他)
○住宅改修
株式会社 シルバーサービス
〒035-0033 むつ市横迎町2-9-13
TEL 0175-22-9511

やさしい街づくりを応援しています。

水産物・青果物・食肉・冷凍食品等の卸売
有限会社 ニツシヨク
NISSYOKU
青森県むつ市大曲二丁目13-35
電話(0175) 22-7222
FAX(0175) 22-7081

下北文化会館
（朝東堂は、2009年4月1日より指定管理者として下北文化会館を管理運営致しております。
皆様のご来館を心よりお待ちしております。）
むつ市金谷1-10-1
☎(0175)22-8411(代) ☎22-8414
株式会社 東京堂
むつ市小川町1-6-1 ☎(0175)22-3241(代) ☎22-9575

この街と、生きていく。
あなたとまちとフェイス to フェイス
Face to Face
青い森しんきん